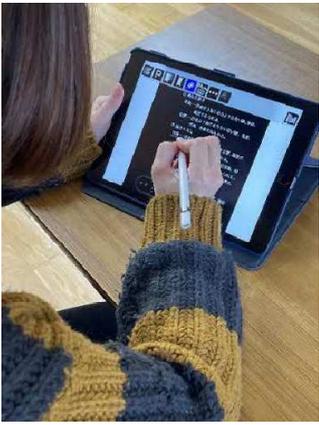


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

見やすい教材を提示するための ICT 活用
「アクセシビリティの設定」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部専攻科理療科2年
	障がい名等	視覚障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・ 視野が狭いので、資料は可能な限り具体的に説明している。差 明があるので、教室のカーテンを閉め照明を暗くするようにし ている。
授業について (教材・教具を 使用した授業 や指導場面)	教科名等	東洋医学概論
	単元(題材)名	単元名「消去法を活用した証の立て方 － 臨床実習に活かす東洋医学的見方 －」
	単元(題材)の概要	東洋医学の見方で患者の証(病状)を決定していく単元で、教科書 や資料を確認しながら生徒自身が証を導き出すことを目標として いる。
教材・教具 支援機器に ついて	教材・教具 支援機器	 タブレット端末を利用した 教材の提示
	ねらい・工夫点	〈ねらい〉 ○ 教科書や資料を自分の見え方に合わせて調整しながら学ぶこ とができる。 〈工夫点〉 ・ 教科書や資料を自分の見え方に合わせて調整する。 ・ ディスプレイに反射しないように照明を落とし、表示を白黒 反転させる。
	材料・作成方法等	タブレット
子どもの変容や評価		・ 生徒が教員と、教科書や資料を自分の見え方に合わせて確認・ 共有することができた。 ・ 資料の確認の時間が短くなり、話し合いなどの主体的な学習 の時間を増やすことができた。

(令和4年度)